

2025～26 年度

国際ロータリー第 2580 地区 東京田無ロータリークラブ



RI 会長 フランチェスコ・アレッツォ

例会日：毎週木曜日 12:30～13:30

例会場：フレンドリー 2階

事務局：〒188-0011

東京都西東京市田無町 5-1-12

海老沢ビル 401

TEL 042-463-6711 FAX 042-463-6716

E-mail/info@nishitokyoshi-rc.org

HP/<https://nishitokyoshi-rc.org/>

会長：樋口信太郎 幹事：山田裕太

Vol. 57 No. 19/ 2026. 3. 12 発行

公演のご案内が来ています。

第 2630 回 例会 3月12日(木)

出席報告

総員	23名	免除	1名
出席	12名	出席率	52.2%
欠席	11名		

第 2629 回 例会報告 3月5日(木)

卓話

王儀瑤さん

米山奨学生

委員会報告

卓話

王儀瑤さん

会長報告 樋口 信太郎 会長

- (1) 4月からの米山奨学生カウンセラーは樋口会員
- (2) 地区補助金 申請しない
- (3) 5月7日卓話 池澤隆史名誉会員
7月から正会員の予定

幹事報告 山田 裕太 幹事

- (1) 「ハイライトよねやま」が来ています。
- (2) 「東京目白RC 社会奉仕活動報告」が来ています。
- (3) 「希望の風」CD 発売記念ライブのチラシが来ています。
- (4) ロータリーフェローズ東京 春の例会「知的交流の集い2026」のご案内が来ています。
- (5) 「第24回 RI 台湾囲碁大会」のご案内が来ています。
- (6) バリアフリー演劇ミュージカル『星の王子さま』

皆さま、こんにちは。

本日はお時間をいただき、ありがとうございます。実は、お正月に中国へ帰国する機会がありまして、そのときに中国のお菓子を少し持ってきました。今日はよかったら、皆さまにも味見していただけたら嬉しいです。

まず一つ目は「サチマ」です。小麦粉を揚げて、甘いシロップで固めたお菓子で、中国では定番のおやつです。

二つ目は「山楂糕（さんざしのお菓子）」で、甘酸っぱい味のお菓子です。

そして三つ目が、中国で有名な「辣条（ラーティアオ）」です。

この辣条はちょっと辛いお菓子なのですが、以前、山田さんの奥様に食べていただいたことがあって、そのときは「辛くてちょっと無理かも…」と言われてしまったので、今回は少し辛さ控えめのものを選んでみました。

よかったら、ぜひ皆さまも試してみてください。私の話がもしあまり面白くなくても、

お菓子を食べながら、気楽に聞いていただけたら嬉しいです。

それでは、この一年間の奨学生としての経験を振り返りながら、私が感じたことを少しお話しさせていただきます。

まず、この一年を振り返ってみると、本当に多くの出会いと学びがあった一年だったなと感じています。

この奨学金クラブに参加する前、私の日本での生活は、ほとんど大学と研究室が中心でした。

友人もたくさんいましたが、周りはほとんど学生で、日本の社会人の方々と直接交流する機会はあまりありませんでした。

そのため、社会で働いている方のお話を直接聞く機会も少なく、自分の視野はまだとても限られていたと思います。

しかし、このクラブに参加してから、多くの方と出会い、いろいろなお話を聞かせていただきました。

皆さまのお仕事のことや人生経験、社会についての考え方などを直接伺うことができ、私にとって本当に貴重な経験になりました。

特に印象に残っているのは、例会での卓話や、その後の交流の時間です。

いろいろな分野で活躍されている方のお話を聞くたびに、「社会にはこんなにも多くの生き方や働き方があるんだ」と感じました。

普段の大学院生活ではなかなか触れることのできないような考え方や経験に触れることができ、自分の視野が少しずつ広がっていくのを感じました。

また、皆さまと一緒に食事をさせていただく時間も、とても楽しい思い出です。

食事をしながら、仕事のことだけでなく、日本の文化や日常生活、中国での生活など、いろいろなお話をすることができました。

そして実は、そのような食事の席で、普段なかなか飲むことのないお酒もたくさん経験させていただきました。

いろいろなお店に連れて行っていただき、日本の料理やお酒の文化にも触れることができ、とても良い思い出になっています。

最初は少し緊張していましたが、回数を重ねるうちに、皆さまとお話しする時間がとても楽しみになっていきました。

また、このクラブの活動の中で、ポリオ接種などの活動に参加させていただいたことも、とても印象に残っています。社会のために活動されている皆さまの姿を間近で見ることができ、自分も社会の一員として何か貢献できる人になりたいと感じました。

さらに、下平さんのお宅にお招きいただいたこともありました。奥様の洋子さんが美味しい料理を

作ってくださり、とても温かく迎えてくださいました。食事をしながらいろいろなお話をすることができ、本当に家族のように優しく接していただきました。

外国から来た私にとって、日本でこのように温かく迎えていただけたことは本当に嬉しく、今でもとても印象に残っています。

また、皆さまと食事をさせていただいたときの会話の中で、とても印象に残っている出来事があります。

前回の例会の食事の席で、樋口さんが私にこんな質問をしてくれました。

「中国では、日本の教育はどのように見られていますか。ご家族や周りの方々は、日本に留学することをどう思っていますか。」

そのとき私は、「とても評価されていると思います」とお答えしました。

私の家族や友人、そして周りの人たちは、日本の教育に対してとても良い印象を持っています。日本は学術研究にとっても真面目で、教育の質も高い、というイメージがあります。また、物事に丁寧に取り組む姿勢や、基礎を大切に学ぶ方も、とても評価されていると感じています。そして、実際に私が日本で勉強するようになってから、その印象はさらに強くなりました。

大学院では、先生方が研究にとっても真剣に向き合っていて、学生一人ひとりに丁寧に指導していただきます。

例えば、私が卒業論文を書いていたときも、先生がとても熱心に指導していただきました。実は、論文のかなりの部分を先生の研究室で書いていたのですが、先生は私たちの様子を見ながら指導して下さっていました。

時々「ちゃんと書いていますか？」と声をかけてくださることもあって、私たちは少し緊張しながら論文を書いていました。でも今振り返ると、そのおかげで研究の進み具合をしっかり保つことができましたし、卒業論文もそれほど大きな苦勞をせずに完成させることができました。

そのように、学生一人ひとりに丁寧に向き合ってください姿勢は、とても印象的でした。

私はそのような環境の中で学ぶことができ、本当に恵まれていると感じています。

また、世界には留学生と自国の学生で制度が違う国も多いと聞きます。

例えば、留学生の学費が大きく違っていたり、サポートの面で差があったりすることもあるそうです。しかし、日本では留学生であっても、同じ学生として接していただけることが多く、とてもありがたいことだと感じています。

さらに、ロータリーのように、留学生を応援してくださる団体があることも本当に素晴らしいことだと思います。

私自身、このクラブから奨学金という形だけでなく、多くの温かいサポートや励ましをいただきました。この場をお借りして、改めて心から感謝申し上げます。

この一年を振り返ると、さまざまな経験を通して、自分自身の考え方も少し変化があったように感じています。まず感じたのは、「社会との距離が少し近くなった」ということです。これまでは、社会というものをどこか遠い存在のように感じていました。大学院では研究や勉強に集中する毎日、社会とのつながりを実感する機会はそれほど多くありませんでした。しかし、このクラブで皆さまと出会い、いろいろなお話を聞かせていただく中で、社会というものが少し身近なものに感じられるようになりました。また、人との交流の大切さについても、改めて考えるようになりました。普段の生活では、どうしても同じ環境の人と関わることが多くなります。しかし、このクラブでは年齢も職業も異なる多くの方と出会うことができました。さまざまな背景を持つ方々とお話することで、自分一人では気づかなかった考え方や価値観に触れることができました。さらに、社会人の皆さまがそれぞれの分野で努力されながら活躍されている姿を見て、私も将来、社会の中で自分にできることを少しずつ見つけていきたいと思うようになりました。まだ経験も知識も十分ではありませんが、これから社会に出て多くのことを学びながら、自分なりの形で社会に貢献できる人になりたいと考えています。

また、最近ではニュースなどで、中日関係についてさまざまな話題が取り上げられることもあります。そうしたニュースを見ると、国と国との関係について考える機会も増えました。しかし、実際に日本で生活し、そしてこのクラブで皆さまと出会い交流する中で、私は改めて「人と人とのつながり」の大切さを感じるようになりました。国籍や文化が違っていても、お互いに話をし、理解しようとすることで、距離は少しずつ近づいていくのだと思います。また、日本で生活していると、「日本に来てよかったな」と感じる瞬間があります。例えば、周りの方がとても親切に声をかけてくださったときや、困っているときに自然に助けてくださったときです。

実は以前、私の両親が日本に遊びに来たとき、地下鉄の乗り換えが分からなくて困ってしまっただけがありました。そのとき、近くにいらっしゃった女性の方が声をかけてくださり、一緒に電車に乗って目的地まで案内してくださったそうです。そして、両親が無事に着いたことを確認してから、ご自身は別の方向へ向かわれたそうです。両親はその出来事にとっても感動して、「日本の方は本当に親切だね」と何度も話していました。私もその話を聞いたとき、とても嬉しい気持ちになりました。このクラブで皆さまと出会い交流する中でも、そのような温かさを何度も感じました。日本に来て、多くの方々と出会い、支えていただいていることを、改めて本当にありがたいことだと感じています。そして何より、この一年間を通して強く感じたのは、「人との出会いの大切さ」です。人生の中で、どのような人と出会うかによって、自分の考え方や人生の方向は大きく変わると思っています。この奨学金クラブで出会った皆さまは、私にとって本当に大切な出会いでした。皆さまからいただいた温かい言葉や励ましは、これからの人生においてもきっと大きな支えになると思います。

私は今年の春から、日本で社会人として働く予定です。新しい環境に入ることになるので、不安もありますが、それ以上に楽しみな気持ちの方が大きいです。これから社会に出ても、このクラブで学ばせていただいたことや、皆さまからいただいた温かい言葉を大切にしながら、一歩ずつ成長していきたいと思っています。そして、いつか私も、皆さまのように次の世代の学生を応援できるような人になれたらとても嬉しいです。最後になりますが、この場をお借りして、改めて皆さまに心から感謝申し上げます。この一年間、本当にありがとうございました。このクラブでの出会いと経験は、私にとってこれからの人生の大きな財産になると思います。これからもどうぞよろしく願いいたします。本日はご清聴いただき、ありがとうございました。



ニコニコBOX

樋口信太郎会員

今日は米山奨学生の集大成として王さんの卓話です。よろしくお願いします。

山田裕太会員

先日の地区大会お疲れ様でした。王さん本日の卓話よろしくお願いします。

浦野利一会員

会長・幹事さん地区大会おつかれさまでした。出席の皆様ご苦労様でした。

中村洋司会員

王儀瑤さんの今後の御発展を祈念しています。御元気で御活躍下さい。

下平章会員

王さん、まもなく1年が過ぎます。卒業後も忘れずにいて下さい。

新井浅浩会員

王儀瑤さん、卓話よろしくお願いいたします。皆様寒暖差の厳しい日が続きますが体調管理に気をつけて頑張りましょう。

荒井真澄会員

事務所の人手不足が解消されず、例会になかなか出席できず申し訳ありません。

王さん、卓話楽しみにしています。

吉田宗泰会員

本日、米山奨学生王儀瑤さんの卓話を楽しみにしております。宜しく申し上げます。

飯島享会員

王さん、学生生活も残り僅かですね。存分に楽しんで下さい。卓話楽しみにしています。

井上明子会員

寒暖の差が激しい日が続きますが、皆様ご自愛下さい。

王さん、本日の卓話お願いいたします。

山田剛士会員

先日の地区大会おつかれ様でした。

王さんもいよいよ社会人としてはばたきますね。本日の卓話楽しみにしております。

回 覧

◇上記の幹事報告

◇他クラブ週報

配布物

※

本日の昼食

道

例 会 予 定

3月19日(木)

3月26日(木) 休会

4月2日(木) 理事会 PETS 報告

ロータリーの友

4月9日(木) 休会

SAA・例会場設営担当 (11時50分集合)
<週報担当 齋藤雄作会員>

本日計 11,000 円 / 累計 223,000 円